幻の浄土が、今よみがえる
無量光院が語る
平泉の真実。

2026
Hiraizumi
Symposium
in Tokyo



資料提供：平泉町教育委員会
復元考証：京都大学大学院教授 冨島義幸
CG作成：共同研究者 竹川浩平

平泉学シンポジウム in 東京

世界遺産 平泉研究の現在3

平泉 奥州藤原氏の描いた浄土

Ⅰ 世界遺産 平泉
―無量光院の調査整備を中心に―

Ⅱ 平泉 藤原氏の構想
―秀衡と無量光院―

Ⅲ 奥州藤原氏の阿弥陀信仰と来世観
―無量光院を中心に―

Ⅳ 出土資料からみた平泉
―重要文化財指定品の紹介―

日時 令和8年12月19日（土）
13時～16時

会場 一橋大学 一橋講堂
（東京都千代田区一ツ橋2-1-2）

入場無料
要事前申込

平泉学シンポジウム

世界遺産 平泉研究の現在3 in 東京

平泉 奥州藤原氏の描いた浄土

日時 令和8年12月19日（土）13時～16時

会場 一橋大学一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋2-1-2）

入場無料 対象：一般（要事前申込）

今から900年前平安時代末、末法の世の到来から隆盛した浄土思想を中心に、奥州藤原氏は都から遠くみちのく平泉に数々の浄土庭園や仏教寺院を築き、自らが信奉する浄土をこの世に描きました。現在、世界遺産となっている平泉の文化遺産のうち、浄土庭園の最高傑作としてこの地に残されているのが、3代藤原秀衡の造営による無量光院です。近年の調査研究から明らかになった寺院、浄土庭園の実態から、みちのく平泉に築かれた奥州藤原氏が描いた阿弥陀信仰に基づく浄土の景観、浄土信仰に基づく支配構想を読み解きます。

Ⅰ 紹介
世界遺産 平泉
―無量光院の調査整備を中心に―
島原 弘征（平泉文化遺産センター）

世界遺産「平泉」の構成資産であり、奥州藤原氏が築いた浄土庭園の傑作・無量光院跡。近年の発掘調査と整備事業により、その壮大な伽藍配置や往時の意匠が明らかになってきました。ここでは、最新の調査成果に基づき、無量光院跡について分かりやすく紹介します。

Ⅱ 講演
平泉藤原氏の構想
―秀衡と無量光院―
七海 雅人（東北学院大学）

平泉藤原氏三代の藤原秀衡期を中心に平泉藤原氏の歴史や支配構想、無量光院などの都市平泉像など文献史学の成果を中心に御講演いただきます。

Ⅲ 講演
奥州藤原氏の阿弥陀信仰と来世観
―無量光院を中心に―
冨島 義幸（京都大学）

建築史・宗教史の視点から、無量光院の造形・ランドスケープから読み解かれる、奥州藤原氏の宗教理念について御講演いただきます。

Ⅳ 紹介
出土資料からみた平泉
―重要文化財指定品の紹介―
櫻井 友梓（岩手県教育委員会）

平泉では長年の発掘調査の蓄積で得られた多くの出土品から多くの情報が得られています。近年、重要文化財に指定された資料を中心にその概要と価値の一端を紹介します。

幻の浄土が、今よみがえる 無量光院が語る 平泉の真実。

参加申込方法
参加希望の方は、事前申し込みが必要です。

❶WEBによる参加申込／右記二次元バーコードより申込フォームにアクセスし必要事項をご入力ください

❷FAXによる参加申込／FAX 019-629-9170
代表者名、申込人数、ご住所、電話番号をご記入のうえ上記FAXへ

❸ハガキによる参加申込／送り先：平泉学シンポジウム受付事務局
代表者名、申込人数、ご住所、電話番号をご記入のうえ下記受付事務局まで送付

申込締切 2026年12月7日（月） ※必着

◎受付事務局及びハガキ・FAX送り先／平泉学シンポジウム受付事務局（㈱オリンピア企画内）
◎対応時間／平日9時30分～17時30分　TEL 019-654-1231
〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原3-3-8 正和ビル2階

■会場
一橋大学一橋講堂
東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内

【最寄り駅】
・東京メトロ半蔵門線・都営三田線・都営新宿線 神保町駅（A8・A9出口）徒歩4分
・東京メトロ東西線 竹橋駅（1b出口）徒歩4分



令和8年度文化庁文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）

主催／世界遺産平泉保存活用推進実行委員会、岩手県、岩手大学
後援／一関市、奥州市、平泉町　協力／中尊寺、毛越寺
申込事務局／株式会社オリンピア企画　TEL 019-654-1231（平日9時30分～17時30分）

FAX 送信表

代表者名

住所

電話　　申込人数